

区議会だより

発行/江戸川区議会
江戸川区中央1-4-1
ダイヤルイン 5662-6736
<http://www.gikai.city.edogawa.tokyo.jp/>

224号の
主な記事

- 第4回定例会概要、新年のあいさつ.....1 ページ
- 議案、請願・陳情の処理状況.....2 ページ
- 代表質問、一般質問、議員提出議案の概要... 3~6 ページ
- 目で見える江戸川区議会の1年間.....7 ページ
- 江戸川区議会会派等別議員一覧.....8 ページ

第4回定例会日程

- 11月29日...議案上程、委員会付託、表決
- 12月 1日...代表質問
- 2日...一般質問
- 5日...議案審査
- 6日...請願・陳情等の審査
- 13日...委員会報告及び表決

平成28年第4回定例会

補正予算を含む議案24件を可決

「地域防災力の向上と災害に強い防災拠点の整備を求める意見書」を含む意見書2件を可決

平成28年第4回定例会は11月29日から12月13日までの15日間の会期で開きました。

この定例会には区長から、再開発事業推進費の増額などを計上した補正予算を含む22件の議案と報告2件が提出されました。

これらの議案はいずれも原案のとおり可決しました。

また、議員からは「地域防災力の向上と災害に強い防災拠点の整備を求める意見書」を含む3件の議案が提出され、継続審査となった1件を除き、全会一致で可決しました。意見書は関係機関に送付しました。

この定例会の会議録は、2月中旬にできあがります。



西の干支鈴（希望の家利用者作成）

会議録の詳細は、区議会ホームページ、お近くの図書館、または区議会事務局をご覧ください。

新年を迎え皆様のご健康とご多幸を心からお祈りいたします



福本みつひろ議長

区民の皆様には健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平成29年の新春を迎え、江戸川区議会を代表し、新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、ブラジルのリオデジャネイロでオリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、トップアスリートたちの熱き華麗なたたかいに世界中が酔いしれました。中でも、史上最多のメダルを獲得した日本の活躍は目を見張るものがあり、選手の雄姿見たさに連日寝不足になった方も少なくなかったのではないのでしょうか。さて、3年と半年後には、いよいよ東京の番です。東京五輪に向け、区といたしましては、区民の皆様のスポーツの機運を高めるため、区歌4番の制定や「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会江戸川区推進プログラム」の作成など、スポーツ関連はもちろんのこと、教育や国際交流、まちづくり等、多岐に渡り、開催に向けた準備を進めております。



中道たかし副議長

東京オリンピック・パラリンピックは未来につながる大イベントです。大会後のカヌー競技場施設の活用や異文化交流による子どもたちの成長など、本区の将来を想像すると胸が高鳴ります。区民の皆様とともに江戸川区全体で東京五輪の開催、そして、成功へと導くため、全力で取り組んでいく所存でございます。

また、未来への取り組みだけでなく、区民の皆様の幸せのため

にこれまで取り組んできた努力が実を結んだ一年でもありました。

子どもたちの探求活動の拠点として、生き物や産業などのさまざまな分野について学ぶことのできる子ども未来館が、「ふるさとづくり大賞」を受賞しました。さらには、東京都との長年の交渉の末、児童福祉法が改正され、本区の長年の悲願であった児童相談所が設置できるようになるなど、子どもたちの幸せのための取り組みが、ますます進展して参りました。

一方で区の抱えるさまざまな行政課題への対応は待たなしです。今後ますます加速が予想されている少子高齢化への取り組みや子どもたちの豊かな未来に向けては、児童相談所の早期開設に向けた準備、総合的な子どもの貧困対策、充実した教育環境など、課題は多岐にわたります。

これからも世界に挑む若人が努力を怠らず、お互いを高め合い、世界に挑戦していけるような環境づくりや区民の皆様が誇りを持てる都市の創造に努めて参ります。

区民の皆様の変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げますとともに、ご健康ご多幸をお祈りして年頭のあいさつといたします。

平成29年新春

江戸川区議会 議長 福本みつひろ
副議長 中道たかし

議案等の概要と結果 (○…賛成、×…反対)

会派名：公明…公明党、自民…自由民主党、民進…民進党、共産…日本共産党 自由…江戸川自由民主党、江戸…江戸川クラブ、生ネ…生活者ネットワーク

(議長を除く 計43名)

Table with columns: 件名, 概要, 公明, 自民, 民進, 共産, 自由, 江戸, 生ネ, 無所属, 賛成, 反対, 結果. Includes sections for 区長提出議案, 条例(一部改正), その他, 議員提出議案, and 今回の定例会で結果が出された請願・陳情.

※1 趣旨採択…議会としては、願意について十分理解できるものの、当分の間は願意どおりの実現は困難であるため「趣旨には賛成である」という意味の議決です。
※2 不採択に賛成ではかり不採択。

皆さんから出された請願・陳情

Table with columns: 新たに受理されたもの, 付託委員会, 番号, 内容, 結果. Lists various petitions and their handling status.

区政への質問

12月1日に代表質問、2日に一般質問が行われ、区政全般の課題について活発な論議が展開されました。ここでは質問と答弁の要旨を掲載します。

代表質問

待機児童解消等に対応する 保育士確保と質の向上を!



公明党
うざわ 悦子

問 今後の区政運営について

- ①保育需要の拡大などの社会情勢に対応するために実施する保育士採用の今後の方針は。
- ②保育士の質の確保のための取り組みは。
- ③保育士確保のために、どのような独自施策を行っているのか。
- ④今後の学校統廃合後の跡地利用の進め方は。
- ⑤旧清新第二小学校の跡地利用について、民間事業者の公募の進め方は。

答 ①区立保育園民営化のペースを落とすための保育士不足や児童相談所の移管など、職域の拡大に対応するために採用を行う。私立との競合が起こらないよう配慮する。

②研修等を実施し、保育士の資質の向上のための支援をしていく。

③国や都の制度を最大限活用し、給与面や生活面での支援を行い、処遇改善に努める。

④施設の老朽度や耐震性を考慮し、既存施設を最大限活用していく。地域の課題に対応するため、区での活用を第一に、民間活力の導入を含め、最善の方法を検討していく。

⑤公募型のプロポーザル方式により、既存施設を有効活用する事業を募集する。12月に募集要項を公表し、施設説明会の後、3月下旬に事業者を決定したい。

問 東北大学国際会計政策大学院と連携し、区内産業とのグローバルな事業展開、留学生との人的交流など将来を見据えた取り組みを。

答 区と大学で相互協力協定を結び、区民の皆様のための地域貢献の方法を協議していく。



東北大学国際会計政策大学院との連携

問 財政の「数値化」、「見える化」、「分かる化」を推進するために導入された、新公会計制度の今後の活用方法は。

答 皆様の意見を聴きながら、将来の区政へのより良い活用方法を研究していく。

問 博多駅前の大規模な道路陥没事故を踏まえ、本区のインフラの老朽化対策の進め方は。

答 区内でも下水道管の老朽化による道路陥没が起きており、職員や委託業者と調査を行っている。平井地区の整備計画も含め、今後も下水道局に働きかけ、万全を期したい。

問 災害時の千葉県側への避難や物流の円滑化のため、12年間整備が止まっている放射第16号線の早期整備を。

答 千葉県側の事情もあるが、早期実現に向け、粘り強く取り組んでいく。

「スポーツ健康長寿都市」 宣言を!



自由民主党
島村 和成

問 「健康寿命」を伸ばし、楽しく健康に過ごしていただくためには、日頃からスポーツに取り組むことが必要である。区民の皆様へ一日でも長く健康で過ごしていただくために「スポーツ健康長寿都市宣言」を。

答 日常の中で気軽にできる健康増進法を身に付け、それらが地域全体の活動として取り組まれていくことで「スポーツ健康長寿都市宣言」に繋がっていけば良いと考えている。



「スポーツ健康長寿都市宣言」を

問 東京オリンピック・パラリンピックの機運醸成のため、全区民を対象に体力測定を目的とした「スポーツ記録会」の実施を。

答 体力測定や記録会が全区民に定着し、区民運動として行われることは大変意義があり、地域で行われている体力測定や記録会が全区民的な取り組みとなるよう、具体的な方法を検討していく。

問 子どもたちの地域への愛着を育むため、区のホームページの子供向けコーナーに小・中学生の「わがまちの自慢紹介」の掲載を。

答 故郷を認識し、表現し、それを皆さんに見ていただくことで地域への愛着を育むことができる。中学生の心を育てるため、ホームページへの掲載に取り組んでいきたい。

問 熟年者を地域で支えるため、地域の民間企業から協賛金を得て、「地域での気づき」の視点についての講座の開催や個人番号等に入った「高齢者見守りキーホルダー」の活用を。

答 大田区で実際に取り組まれている「高齢者見守りキーホルダー」を参考に、本区でも導入を検討している。まずは、スポンサー探しから始め、目処が立った段階で作成に取りかかる。

問 子どもたちに「生きる自信」を獲得させるため、日頃の学校活動の中で、子どもたちの個性を見極め、それぞれの得意分野を伸ばす、きめ細やかな教育実践を。

答 子どもたちの自己肯定感を高める取り組みとして、授業をはじめとした教育活動の中で、各児童・生徒が得意分野で活躍する場面を作り、それぞれが自信を高められるような指導をしている。今後も児童・生徒の一人一人の個性を尊重し、長所を伸ばし、褒めて、きめ細やかな教育を推進していく。

問 子どもたちが本区の将来を担う地域人として、また、新たな時代を築く社会人として成長していく過程の中で、社会奉仕活動を経験することは、大変有意義である。社会奉仕の一翼を担う活動として、地域清掃ボランティアの取り組みの積極的な推進を。

オリ・パラボランティア活動 無電柱化・介護ロボットの活用



民進党
中里 省三

問 2020年オリンピック・パラリンピックに関連して

①オリンピック・パラリンピックの大会運営にはボランティアの協力が重要であるが、今後のボランティア活動と運営についての考えは。

②オリンピック・パラリンピック開催に向け、ピクトグラムの国際標準化が求められている。JIS規格を踏まえ、ピクトグラムのあり方についてどのように考えているのか。

答 ①本区では英会話や外国の方へのマナー等について、年6回のボランティア養成講座を開催している。また、都の開催する講座にも多くの方が参加してもらえるような方策を講じていく。外国の方への対応方針を早期にまとめ、区民の皆様へ働きかけをしていきたい。

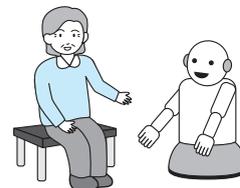
②国際基準を踏まえ、国が統一的な形を作ることが必要であり、2017年にピクトグラムのJIS規格が改定予定であるので、国の動向を注視していく。

問 電柱の地中化には、①景観の向上、②安全で快適な歩行空間の確保、③都市防災力の強化というメリットがあり、世界的にも無電柱化が進められている。東京オリンピック・パラリンピック開催を控え、本区における無電柱化の進捗状況と今後の計画は。

答 現在の整備率は区道だけでは53%で、国道・都道も含めると35%である。都の無電柱化推進計画を基に、環七や都市計画道路を中心に着実に整備を進めていく。

問 介護ロボットの導入には要介護者の心理的不安の軽減や介護者の肉体的負担の軽減などの効果があり、介護ロボットの果たす役割は重要である。本区の各事業所からの要望や介護現場での課題を踏まえ、介護ロボットの活用についてどのように考えているか。

答 介護ロボットの導入は、介護する側も受ける側にも非常に有効であると言われている。本区でも国からの支援を活用し、介護ロボット導入の支援をしてきた。今後も国や民間の動向を注視し導入を推進していく。



介護ロボットの導入

憲法9条・知る権利守れ、 待機児童解消を!



日本共産党
セバタ 勇

問 自衛隊を南スーダンから撤退させ、憲法9条による非軍事の人道支援、民生支援に転換

すべきであると考え、武力の行使を伴う新しい任務の「駆けつけ警護」と憲法9条及び憲法改定についてどう考えるか。

☑ 「駆けつけ警護」は憲法の範囲内で実現が可能と政府が判断したことであると認識している。憲法の改正については徹底した議論が尽くされるべきであると考え。

☑ 情報公開制度の改定について

①情報公開制度の改定で、区民全体の「知る権利」を全国で最も後退させたという認識は。また、区民の意見反映を行わなかった理由は。

②「情報公開の趣旨を損なわない運用」とは具体的にどのような運用方法か。

③「権利の乱用」に当たらない場合の「被覆負担」について改善・配慮を。

☑ ①区民の「知る権利」を新たに制限するものではないので、区民の意見の反映は必要がないと判断したためである。専門家の意見も十分に聞きながら実施している。

②「権利の乱用の適用に係る指針」に基づき運用していく。情報公開の趣旨を損なうことのないよう慎重に運用していく。

③被覆の処理は写しの交付と同様に費用がかかっており、実費負担を求めるものである。

☑ 待機児童解消など保育行政について

①区立保育園の保育士採用についての理由と今後のスケジュール、採用人数、配置計画は。

②認可保育園増設と都用地の活用の考えは。

③国や都に保育士の処遇改善の要望を。また、本区としても対策の検討及び実施を。

④都の緊急対策を活用し、認証保育所保育料の補助対象者の拡大を。



保育士の採用と処遇改善

☑ ①社会情勢の変化に対応するため、採用を行う。これから採用計画を検討していく。

②可能な場合には認可保育園を作ることが良い。必要があれば都用地を活用する。

③今後も保育士の処遇改善に努める。

④将来の動向を見ていく必要がある。

地域力を活かしたまちづくり



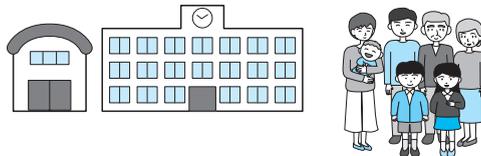
江戸川自由民主党 須賀 精二

☑ 地域力の活用について

①地域の社会福祉法人を中心に町会・医療機関等が連携し、支援が必要な人への見守り・声かけ・手助けなどを行う。「スマイルコミュニティ構想」を江戸川区モデルとして、各地域にあった形で推進を。

②大規模災害直後は誰もが危機感をもち、熱心に対策を講じるものであるが、時間の経過とともに、災害直後の意識は薄れてしまう。区民の一人一人が危機感を持ちつづけるために、日常的な備蓄などの自助の促進や既存の建物の屋上を防災備蓄倉庫・一時滞在施設として活用するなど、地域と協力的な災害対策を進めていく必要がある。本区の地域力を活かした災害対策についての考えは。

③本区では平成25年に策定された「江戸川区立小学校・中学校の統合に関する基本指針」に基づき、学校の適正配置が行われてきた。統廃合は学校の歴史や現状などの実情に合わせ、地域とともに検討していくべきものであり、一律に決められるものではない。「地域とともにある学校づくり」という観点から学校統廃合に地域力の活用を。



地域とともにある学校づくり

☑ ①「なごみの家」は行政だけでなく、地域と協力的な運営が必要である。今後もより良い運営方法を検討し、区民の皆様とともに安全安心な社会づくりにまい進していく。

②かつて水害の多かった本区の農家では、非常用の食料の備蓄や物資輸送用の舟の準備などがされてきた。災害対応には区民の皆様の自助・共助の努力が必要であると考えており、自助を助長するような方法を検討していく。

③全校舎を鉄筋化するなど、時代の変化に対応しながら今日の小中学校は築かれてきたが、そこには地域の協力という原動力が不可欠であった。統廃合は区だけで決めるのではなく、戦後からの学校運営に情熱を注いでくれた方々の想いを振り返りながら、地域の方々と協力的に、将来の学校について決めていただくことが一番良いことであると考えている。

ポイ捨てに罰則を成長戦略を示すべき



江戸川クラブ ます 秀行

☑ 予算編成について問う

①予算編成作業の過程で区民の要望はどのように反映されているのか。

②前年度の事業を基にし、次年度の事業を組み立てる「増分主義」に対する考えは。

③新公会計制度の導入により財政の「見える化」を達成することができたが、今後の予算編成における新公会計制度の活用方法は。

☑ ①現場での区民とのやり取りやさまざまな分野の関係団体、議員からの意見などについて検討し、毎年の予算編成を行っている。

②議員等と意見交換を行いながら、増分主義に陥らないよう、施策を検討していく。

③さまざまな意見や分析を受け止め、将来の区政に最大限活用できるよう努力していく。

☑ 本区の地理的利便性を活かし、成長過程にある産業の誘致や起業支援・育成など、区独自の成長戦略を打ち出し、区内産業の活性化を。

☑ 企業を守る支援と起業等の成長支援の両面にバランスの良い産業振興策を進める。

☑ 区役所職員の公正な職務を守るため、議員の口利き行為に対する記録制度の導入を。

☑ 基本は公正・公平な対応をしっかりと守っていくことに尽きる。

☑ 南葛西地区の土壌汚染について問う

①南葛西地区の土壌汚染問題を解決するために、専門家の意見を取り入れ、汚染状況の正確な実態調査を。



南葛西地区の土壌汚染

②土壌汚染の問題は長年の課題であるが、土壌汚染に対する認識と解決に向けた見通しは。

☑ ①臭いの成分と発生原因の調査を行い、その結果を踏まえて対策を行っていく。

②堀江団地の建替えの時に臭いの問題が残っていれば、土壌を含めた対策ができると考えている。時期については未定である。

☑ 区内における歩きタバコ・ポイ捨ての状況に鑑み、平成24年に「歩行喫煙及びポイ捨ての防止等に関する条例」が施行されたものの、区内の環境が大きく改善されたとは言えない。東京オリンピック・パラリンピックに向け、歩きタバコやポイ捨て防止に向けたより一層の取り組みが必要であるが、現状に対する考えは。

☑ 条例の制定により、一定の効果はあったが、課題は解決されていない。今回提出される条例の改正案の審議を見守っていく。

一般質問

受動喫煙防止策の強化へ！見守りキーホルダーの活用を！



公明党 竹平 ちはる

☑ 東京オリンピック・パラリンピックを見据え、今後の受動喫煙防止策の取り組みは。

☑ 区内の公共施設は概ね国の受動喫煙対策の基準を満たしている。今後もタバコの害の認識が深まるよう積極的な啓発に努める。

☑ 高齢者を地域で見守り支え合うネットワークについて

①高齢者の緊急連絡先や医療情報等を登録し、身元確認に役立てる「見守りキーホルダー」をなごみの家で活用を。

②区のホームページなどで総合人生大学の卒業生などが行っている見守り活動のPRを。

☑ ①取り入れていきたいと考えている。②地域で活動している団体と連携した地域ネットワークの構築は、なごみの家の役割の一つである。活動団体の把握と周知を行っていく。

☑ 認知症対策のさらなる取り組みについて

①スマートフォンなどを活用した認知症行方不明者の捜索や見守りの取り組みを。

②小中高生から高齢者までの幅広い区民が認知症サポーター養成講座を受講できるよう、講師役のキャラバンメイトの増員を。

③認知症サポーターのより実践的な活動を推進するため、ステップアップ講座の開催を。

☑ ①「迷い人台帳」への登録などにより、スマートフォンでも見守りのできる体制を構築している。今後は江戸川メールニュースの活用なども視野に入れ、認知症行方不明者への対応を強化していく。

②区主催のキャラバンメイト養成講座を開催予定であり、積極的に増員に取り組んでいく。

③認知症サポーターの活躍の場の拡大のため、区でもステップアップ講座を実施していきたい。

生活困窮者自立支援制度の就労準備支援事業の早期実施や各分野での連携など、ひきこもりの社会復帰に向けた支援体制の構築を。

来年度に就労準備支援事業を実施し、各関係機関と連携し、自立支援を行っていく。

瑞江駅東二号及び三号駐輪場が廃止になることから、自転車利用者の不安を払拭するため、抜本的な改善策を。

瑞江駅南口駐輪場へのラックの増設や駐車場の土地利用転換、また、レンタサイクルの利用促進による総量の減などを図っていく。

京成本線連続立体化事業の早期実現を



自由民主党
齊藤 まさたか

京成本線連続立体化事業について

①京成高砂駅から江戸川駅の立体化事業について、高砂の車庫予定地が更地となるなど、整備が進み、京成小岩駅周辺の環境整備計画も検討すべき時期にきた。早期の都市計画決定に向けて、今後進めていかなければならない京成小岩駅周辺のまちづくりの方針は。

②駅周辺のまちづくりには、鉄道事業者の収益確保の意向が先に立ち、利用者の快適な環境が二の次にされる傾向がある。利用者の利便性の向上のために、駅や高架下の活用について、事業開始前の現段階から鉄道事業者に働きかけを。

①葛飾区側では曳舟の立体工事が終わり、立石の工事が開始され、再開発予定地の4割を買収した。本区としても用地買収を含め、駅周辺のまちづくりと併せて、取り組んでいく。

②高架下のスペースは街の課題を解決するためには非常に有効であり、関係者ととも有効活用の方法を協議していく。

全国学力学習状況調査結果が23区の中で低位置が続く本区にとって、学力の向上を図るためには、学力調査・体力調査の結果を学校別に公表する必要があると考えるが、学校ごとに公表の対応が異なっている。学力向上に向け、学校別の学力調査の結果をホームページで公開を。

国からの通知で過度な競争が生じないように配慮することや教育上の効果や影響について考慮を求められていることから、学校別の学力調査・体力調査の結果の公表は考えていない。今後も「確かな学力向上推進プラン」の作成などを含めて、学力向上、体力向上への取り組みを進めていきたい。

防災対策

①本区では、さまざまな団体と災害時の防災協定を結んでおり、その中の一つの農業経営者クラブとの協定では、農地を一時的に避難所として活用できることが謳われているが、区民への周知は十分ではない。ビニールハウスの前に「防災協力農地」や「災害時に避難スペースになります」などの表示看板の設置を。

②居住地域の地勢を理解しておくことは、豪雨や内水氾濫からの避難の際に役に立つことから、海拔を色つきで表示した大型立体模型マップを区役所や各事務所に設置を。

①農家の方々のご理解をいただきながら、一時的な避難所となる農地への看板設置に向け検討していく。

②国交省が作成している立体地図を区内の全学校に配布している。区民の理解を得るために

は区の施設への配置は有効であるので、今後研究していく。

発達障害者への支援と教育の諸課題について



民進党
小野塚 あやか

発達障害相談センターでの取り組み

①発達障害の早期発見・早期支援に繋げるため、年代別や一般向けリーフレットの作成を。

②大人の発達障害についてホームページ等での積極的なアナウンスが必要であると考えているが、現在の取り組みと今後の展望は。

①年齢に応じた5種類のリーフレットを作成しており、来年度に向け、小学校高学年、中学生及び大人向けのリーフレットの作成を検討している。今後も本人の気づきと周囲の理解促進を図っていく。

②平成27年度の相談は115件あり、就労へ繋がったケースもある。今後も関係各所と連携し、大人の発達障害の理解促進を行う。

不登校児童生徒対策

①不登校児童生徒の心理状態と周囲の環境を把握するためにスクールカウンセラーの活用と学校・家庭・地域との連携状況を。

②文科省からの不登校児童生徒支援の通知を受け、今後どのような支援をしていくのか。

①各学校で児童生徒だけでなく保護者に対するカウンセリングを実施している。また、必要に応じてケース会議を実施し、関係機関や地域と連携し、家庭への支援を行っている。

②学校サポート教室やエンカレッジルームでさまざまな教育機会の提供や登校サポートボランティアの派遣などの支援を実施している。さらに今年設置した不登校対策委員会で支援に関わる基本的な考え方や取り組みについて協議している。

アクティブラーニングについて

①児童・生徒が主体的に学ぶアクティブラーニングの今後の導入予定と研究方法は。

②アクティブラーニングを算数・数学に積極的に取り入れ、実生活への活用を。

①新学習指導要領の趣旨を踏まえ、全小中学校でアクティブラーニングの視点にたった学習が全教科で行われるよう推進していく。

②日常生活に関連付けた区独自の問題集を使い算数・数学の授業を行っている。

羽田増便中止、分譲マンション支援、少人数学級の実施を



日本共産党
大橋 みえ子

羽田空港増便、新ルート案について

①新ルートは海上ルートを徹底すること、また、荒川沿いの通過案の見直しを国へ要望を。

②「都及び関係区市連絡会」の開催の要望を。

③教室型・コミュニティ方式の説明会の開催を。

①区は新ルート案に賛成の立場であり、中止を要請するつもりはない。

②連絡会は開催されていないが、下部組織の幹事会を通じて、意見反映がされている。今後の状況を踏まえ、連絡会の開催の働きかけを考える。

③説明会の必要性は認識しており、国への開催を要請している。

分譲マンション支援について

①マンション改修における住宅金融支援機構からの融資の信用保証料補助の実施を。

②国が来年度のみ実施する耐震工事補助金の周知及び国への継続の要望を。

①都の利子補給で賄える状況であるので、情報の周知や合意形成への協力を努めていく。

②今は期間延長要請より、この好機をとらえ工事に踏み込んでいただくよう働きかける。

教育行政について

①いじめ・不登校に対する対応方針は。

②国や都に35人学級実施の要望を。学級数が減る学校に対し、区が採用する講師の配置を。

③フリースクールに通う生徒への授業料助成を。

④いじめに対して機敏に対応できる体制づくりと教員が相談できるシステムを。

⑤いじめ相談の多い学校や大規模校にスクールソーシャルワーカー等の専門職員の増員を。

⑥旧清新第二小学校の跡地活用は一般公募の区民も含めた検討委員会での協議を。

①学校サポート教室や家庭訪問などの総合的な対策を行っている。不登校対策委員会を中心に、今後の取り組みを検討していく。

②少人数学級の実施は国や都の動向を注視していく。区独自の講師配置は考えていない。

③学校教育法上の学校として位置づけられていないため、授業料の助成は考えていない。

④専門職員の派遣等により、児童・生徒、保護者及び教職員への支援を行っている。

⑤スクールソーシャルワーカーの配置については、今年度の成果等を基に今後研究していく。

⑥区職員による委員会で検討するが、提案内容の選定については、区民の意見を十分に伺う。

子どもの貧困対策、朝食提供を！江戸川夜間ぬくもり塾の充実！



江戸川自由民主党
大西 洋平

文科省が行った朝食に関する調査では、朝食をとる事に積極的ではない児童も一定数存在することが改めてわかった。この中には、貧困等の理由により食べたくても食べることができない児童もいることから、区の施設を活用し、児童への朝食の場の提供を。

子どもの食事についての実態調査を実施している。その結果を踏まえ、朝食の場の提供を前向きに検討していく。

幅広い世代の方々が勉強できる「江戸川ぬくもり塾」の先生の増員や学びの場の確保、学校との連携等を行い、さらなる充実を。

ひきこもっていて親に連れてこられた子どもなど、39名の塾生が登録されている。さまざまな方が学んでおり、講師の増員や会場の増設など前向きに検討したい。

発達障害相談センターの充実

①スポーツは発達障害の治療に有効であるとともに、新たな診断基準である「発達性協調運動障害」の早期発見にもつなげることができる。汗を流しながら物事を達成し、喜びを実感することは非常に重要であり、今後の発達障害に対する運動支援の考えは。

②発達障害専門相談員として作業療法士等による支援の実施など、きめ細かい相談体制を

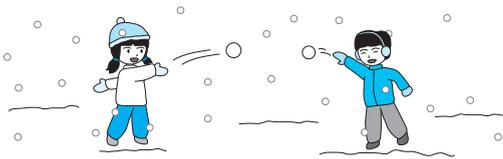
構築し、発達障害相談センターの機能強化を。

⑤ ①発達障害による運動障害は、自己評価の低下や不登校などにつながる可能性があるため、早期に適切な支援を実施していく。

②きめ細やかな相談体制の構築のため、作業療法士等を配置できるよう要綱改正を行った。今後も多様なニーズに応えられるよう、専門相談員の幅を広げ、相談体制の充実を図る。

⑥ 選挙の投票率が低い地域の大型商業施設やコミュニティ会館、文化プラザ等に期日前投票所を設置するなど、投票率及び有権者の利便性向上への取り組みを。

⑦ 安定的なスペースの確保やコミュニティ活動への影響、駐車場の確保など、さまざまな課題を踏まえ、今後研究していく。



思いがけない妊娠・みなし寡婦控除・プラごみ削減



生活者ネットワーク 本西 みつえ

⑧ 思いがけない妊娠の相談・支援について

- ①妊娠についての相談の件数と内容は。
②相談案内カードに「妊娠相談ほっとライン」の優先的掲載と、相談窓口をくらしの便利帳に掲載する等、よりわかりやすい周知を。
③非婚のひとり親家庭の保育料等に差が生じないように寡婦とするみなし寡婦控除の適用を。
④ ①平成27年度の相談は約3400件で、体調や経済的な不安等の相談が多かった。
②区内施設や産婦人科等に設置している。内容

や設置については、より良い形にしていく。

③実施に向けて検討していく。

⑨ マイクロプラスチックごみの削減に向けて

- ①レジ袋削減の取り組みの現状と実績は。
②「江戸川区廃棄物減量等推進審議会」でレジ袋の有料化の取り組みについて検討を。
③全校的にプラスチック類が環境に与える影響を学びリデュース(発生抑制)・リユース(再利用)の教育を。

④ ①ポイント還元や啓発ポスターの掲示等。マイバック利用率は、スーパーでは3割から8割。
②審議会の議論を踏まえ、区の取り組みを進める。
③ごみの種類や行方を学ばせ、環境に与える影響など、問題意識をもたせていく。

子どもの学習支援の拡充を 吃音症や場面緘黙症の支援を



公明党 佐々木 ゆういち

⑩ 江戸川区教育大綱について

- ①基本目標の「『家庭・地域・学校』の協働による総合的人間教育」に込めた思いは。
②来年度の「子どもの学習支援」の取り組みは。
③基本方針のひとつである「学校教育の充実」の現状と今後の展開は。

④ ①子どもたちが学校や家庭、地域社会との関わりの中で学ぶことができるよう、地域の教育コミュニティを形成していきたい。
②現在実施している事業の検証を行い、来年度に向け、より良い学習支援を研究していく。
③今年度から実施している重点事業の一部では成果が出ており、今後は学校教育の充実のために事業の定着に取り組んでいく。

⑪ 防災対策について

- ①医療要配慮者に対する避難行動への支援として、実効性のある計画や行動指針の策定を。

- ②アレルギーに配慮した備蓄物資の拡充を。
③区立小中学校やコミュニティ会館等に応急給水に必要な「スタンドパイプ」の配備を。
④区民の安全のため、避難所運営に職員が関わりすぎないように、初動体制の再点検を。
⑤地域住民の防災意識の向上や地域特性を踏まえた地区防災計画の策定を。

⑥ ①人工呼吸器使用者には、個別計画の作成を進めている。人工透析患者等に対しては、他自治体の例を参考に支援を研究していく。

②アレルギーを持つ人の自己備蓄を促進するなど、実効性を高めるための周知をしていく。

③来年度から各避難所へスタンドパイプを配備できるよう、水道局と調整している。

④実効性を高めるために職員訓練等を実施している。休日や夜間の災害に備え、地域住民による自主運営ができる準備をしていく。

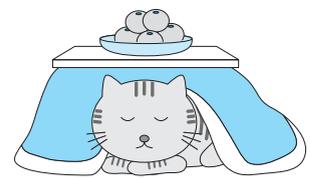
⑤地区ごとの防災マップに基づき、防災訓練を実施している。まちづくりと併せて、地域と相談しながら地区防災計画を作成していく。

⑫ 本区の記録遺産として、区民の皆様が保有する写真や映像等の活用を。

⑬ 限界はあるが、活用するよう努力する。

⑭ 吃音症や場面緘黙症への支援充実の考えは。また、教育現場での子どもや教職員等への支援は。

⑮ 一人一人に応じたきめ細かい支援を行う。教職員に対しては専門研修や講習会等を開催し、資質向上を促していく。今後も多様な方法で普及啓発に努める。



議員から提出され可決された議案

—意見書は各関係機関に送りました—

○固定資産税及び都市計画税の減免措置の継続に関する意見書

〔東京都知事 あて〕

小規模住宅用地の都市計画税を2分の1に軽減、小規模非住宅用地の固定資産税・都市計画税を2割減額、商業地等の固定資産税・都市計画税について負担水準の上限を65%とする措置の29年度以降の継続を東京都に求める。

○地域防災力の向上と災害に強い防災拠点の整備を求める意見書

〔内閣総理大臣、総務大臣、国土交通大臣、内閣府特命担当大臣(防災) あて〕

東日本大震災、熊本地震をはじめ、土砂災害、大水害など各地で発生している大規模な自然災害により、甚大な被害が相次いでいることから、迅速な復旧・復興とともに、安全・安心な国づくりに資する防災・減災対策は喫緊の課題である。地域防災力の向上と災害に強い防災拠点の整備を図るため、被災者支援システムの全自治体への完備・普及、学校区単位での自主防災コミュニティの組織化や訓練の実施など地域防災力の向上を図ることなどを国に求める。

平成29年第1回定例会開催予定

- 2月21日(火) …… 本会議(議案上程、委員会付託)
23日(木) …… 本会議(一般質問)
24日(金) …… 本会議(一般質問)
27・28日 …… 予算特別委員会
3月 2・3・6・7・9・13日 …… 常任委員会(議案審査)
14日(火) …… 常任委員会(議案審査)

- 3月15日(水) …… 各常任委員会(請願・陳情等の審査)
24日(金) …… 本会議(委員会報告及び表決)

※本会議は午後1時、各委員会は午前10時開会予定です。

※傍聴の受付は、本会議は開会日当日の正午以降、各委員会は開会日当日の午前8時30分以降に区役所西棟3階の区議会事務局で先着順に受付ます。なお、定員がありますので詳しくは区議会事務局までお問い合わせください。

目で見る江戸川区議会の1年間

2月

予算特別委員会を開催し、平成28年度の予算を審査しました。



5月

臨時会が開催され、委員会のメンバーが変更になりました。



7月

江戸川区総合防災訓練では、情報収集訓練や参集訓練を行いました。



10月

決算特別委員会が開催され、平成27年度の予算が適正に執行されたかを審査しました。



11月

第4回定例会の初日に議場コンサートを開催し、たくさんの方に鑑賞していただきました。



江戸川区議会会派等別議員一覧

氏名 連絡先
連 絡 名
電 話 番 所
当 選 回 号 数

【◎幹事長 □幹事長代行 ○副幹事長 △幹事】

【会派内の役職・議席番号順】

江戸川区議会 公明党
13名
直通(5662)5112
<http://www.e-komei.com/>

 ◎川瀬 やすのり 江戸川1-21-23 5636-5530 ⑤	 □竹内 すずむ 松江3-14-19 3652-6798 ⑤	 ○田中 じゅん子 上篠崎3-10-11 6638-7465 ⑤	 ○関根 まみ子 春江町4-18-10-102 3869-0978 ③	 ○くぼた 龍一 中葛西2-26-10-1005 3686-1939 ③	 佐々木 ゆういち 北葛西5-4-15 5605-9262 ②	 竹平 ちはる 東小岩1-14-6 5876-7376 ②
 所 た か ひろ 新堀1-13-7 3670-0334 ②	 太田 きみひろ 平井6-32-2 6657-2641 ②	 堀江 そういち 西小岩2-17-1-603 3658-8597 ③	 伊藤 てる子 中葛西5-2-7-309 6903-7742 ③	 中道 たかし 大杉1-1-1-703 5607-0835 ③	 うざわ 悦子 東葛西6-10-18-701 3686-7461 ④	

区議会 自由民主党
9名
直通(5662)5111
<http://edogawa-jimin.jp/>

 ◎田中 寿一 船堀3-1-3 5679-0413 ③	 ○島村 和成 平井5-51-12 3617-3471 ⑦	 △中山 たかひと 西瑞江3-36-4 3677-0072 ②	 △野崎 まこと 西葛西6-8-13-2F 3869-8125 ①	 斉藤 まさたか 北小岩8-24-6 3672-5849 ③	 福本 みつひろ 東葛西8-7-33 3877-0541 ④	 ふじさわ 進一 南小岩6-28-11 3658-0783 ④
 田島 すずむ 鹿骨4-21-2 3670-7716 ⑦	 渡部 正明 松島4-20-13 3653-9346 ⑦					

区議会 民進党
5名
直通(5662)5116

 ◎中里 省三 松江3-12-3 6312-1486 ③	 ○えぞ え 亮一 南篠崎5-12-2-803 3677-6622 ③	 △金井 しげる 南小岩3-15-20 6657-9897 ②	 △神尾 てるあき 春江町3-32-3 5243-8311 ①	 △小野塚 あやか 東葛西5-9-9-506 080-9817-8869 ①
--	---	--	---	--

日本共産党 江戸川区議員団
5名
直通(5662)5113
<http://jcp-edogawa.com/>

 ◎小俣 のり子 中央2-22-4 3655-4422 ④	 ○大橋 みえ子 中葛西8-6-2 5674-3753 ②	 △セバタ 勇 平井2-17-3 3637-4050 ⑨	 牧野 けんじ 東小岩3-13-9 6331-1791 ①	 須田 哲二 篠崎町5-14-10-1003 3677-2616 ④
---	---	---	---	--

江戸川 自由民主党
5名
直通(5662)1291
<http://edogawa-jimin.net/>

 ◎はやかわ 和江 松本1-10-6 5678-0777 ④	 ○大西 洋平 篠崎町2-1-10-305 5664-2024 ②	 △栗原 ゆたか 中央3-5-2 3674-6025 ①	 高木 ひでたか 一之江5-7-17 5661-4608 ④	 須賀 精二 江戸川2-8-1 3679-8373 ⑥
--	---	---	--	---

江戸川クラブ
4名
直通(5662)0074

 ◎ます 秀行 南葛西4-21-3-402 6662-7890 ②	 ○中津川 まさあき 南篠崎町1-22-2 3678-1660 ②	 △岩田 まさかず 上篠崎3-9-13 3679-3223 ①	 笹本 ひさし 北小岩6-16-1-2F 5668-2636 ③
---	---	--	--

生活者ネットワーク
2名
直通(5662)2752
<http://edogawa-seikatsusha.me/>

 ◎本西 みつえ 東小松川3-35-13-205 5607-5975 ①	 ○伊藤 ひとみ 南葛西6-17-15-204 3675-9220 ①
--	---

無所属
直通(5662)1993

 須賀 清次 東葛西4-27-13 3688-7001 ⑤



区議会だより編集委員会
(◎委員長 ○副委員長)

◎川瀬 やすのり ○田中 寿一
ます 秀行 中里 省三
はやかわ 和江 小俣 のり子